

この度の東日本大震災・大津波・原発事故で 被害を受けられたすべての皆様に 心からお見舞い申し上げます。



「くじけないで」  
柴田トヨ

ねえ 不幸だなんて  
溜息をつかないで  
陽射しやそよ風は  
えこひいきしない  
夢は  
平等に見られるのよ

私 辛いことが  
あつたけれど  
生きていてよかつた  
あなたもくじけずに

本の紹介：詩集「くじけないで」(飛鳥新社 1000 円)柴田トヨさん。1911(明治 44)年6月生まれ。90 歳を過ぎてから詩作を始め、昨年初めての詩集を出版。150 万部のベストセラーになっています。

## 9条の会所蔵の戦争柄の着物が「Jr.日本の歴史」にカラーで掲載



小学館の「Jr.日本の歴史」全7巻のうち4月に発売された第6巻「大日本帝国の時代」にあきる野9条の会が所蔵している「戦争柄の着物」がグラビアページにカラーで大きく掲載され、所蔵先としてあきる野9条の会と記されています。幼児用の戦争柄の着物は草花の山田さんから寄贈されたもので、戦車や戦闘機、爆弾などの図柄とナチスのカギ十字やイタリアなどの旗がデザインされています。当会のブログ「事務局だより」に掲載されていたものを見つけた小学館の担当者から依頼がありました。なお、この巻には五日市憲法草案の記述があり、あきる野市教育委員会が写真を提供しています。

## 田中正造を現代に活かすシンポジウムに参加しました

私たちの会でたびたび講演いただいた梅田欽治先生(宇都宮大学名誉教授)が基調報告をするというので、2月20日に行われた第16回田中正造を現代に活かすシンポジウムに参加しました。会場は栃木県佐野市中央公民館。シンポジウムでは田中正造が生涯

に五度も牢獄を体験し、自らの主張を確立していく様子を讀んだ吟詠が披露されました。梅田先生は、菅内閣の中国を敵視した「新防衛大綱」を鋭く批判し、正造の一貫したアジア観を詳しく説明。没後百年の2013年に向けて、正造の全体像を、九条を持つ日本で広げる必要があると語りました。姜相徳氏(滋賀大名誉教授・在日漢人歴史資料館館長)は正造の時代の朝鮮と清について詳しく報告。布川了田中正造記念館名誉館長は、1万円札から福沢諭吉の引退をと語り、福沢を正造にかえたデザインを披露するなど豊富な資料で日本国憲法さきがけの人・牢獄の学びと題して講演しました。田中正造や当時の朝鮮などの新たな発見もありました。



メディアの目

## 「想定外」・なんと都合のいい言葉でしょうか

仲築間卓蔵さん(元日本テレビプロデューサー、日本ジャーナリスト会議・放送部会代表)

3月11日の巨大地震。M7.9だった速報値はM9.0までと変更されました。計算式の違いなのか、作為的な変更なのか…。「想定外」を(国民に)思い込ませる第一弾だったのではないかと



そして福島第一原発。東京電力は、「M7・9に耐

えられる」「それ以上は百年に一度しかあり得ない」といっていました。だからM9.0は「想定外」。次いで大津波……。東京電力は、ここでも「想定外」でした。「想定外」といえば何事も“パス”すると考えた輩がいたのでしょう。「想定外」という言葉は「責任の所在」をうやむやにさせる「目くらまし」の役割を果たしたといえます。この責任は、やがて厳しく問われることになるでしょう。その「目くらまし」は、テレビCMにまで及んでいます。「思いやりを……」「こころづかいを……」というAC広告とともに、各地出身のタレントたちに「福島が好き」と歌わせ、アイドル歌手やスポーツ選手を使って「みんなでやれば乗り越えられる」「日本は強い国」「日本の力を信じてる」とコメントさせています。ここでも、「責任の所在」をうやむやにしたまま「被災地救援」を国民任せにしていると感じるのはいくらも考えすぎでしょうか。戦争中の標語「欲しがりません勝つまでは」を思い出すのは私だけではないでしょう。気づかないうちに「ナショナリズム」が刷り込まれつつあるように思えてならないのです。ここは、一瞬立ち止まって、今回の大震災報道を冷静に見つめ直す必要があります。（「生きいき憲法」九条の会東京連絡会ニュース第15号4/5発行より抜粋）

## 5・3憲法集会&銀座パレードに2800人

東日本大震災の被災者に心を寄せ、生かそう憲法、輝け9条と日比谷公会堂で憲法集会が5月3日に行われました。三宅晶子(千葉大教授)、伊藤千尋(ジャーナリスト)、福島みずほ(社民党党首)、志位和夫(日本共産党委員長)の各氏がスピーチし、寿[kotobuki]が歌を披露。参議院憲法審査会の規定制定を強行する動きなどを告発し、憲法を生かそうとアピールを決議したあと、銀座をパレードしました。



### ◆お・し・ら・せ◆

## ◎原発って必要なの？ 知りたいあなたへ

5月14日(土)13:30~16:30

お話し:「福島原発事故とチェルノブイリ」小寺隆幸さん(京都橋大学教授、チェルノブイリ子ども基金理事、原爆の丸木本美術館理事長) 会場:あきる野ルピア 3F和室、資料代 500円、主催:福島原発事故を考える会(お問合せ 谷口・辻 559-8851、佐橋 596-4569)

## ◎ドキュメンタリー映画「無言館」上映

5月14日から6月10日まで(5月27日までの上

映時間は①10:20~ ②12:20~ ③14:20~ ④16:20~ ⑤18:20~) 新宿武蔵野館で上映(初日の17時40分から窪島誠一郎無言館館主などが舞台あいさつを予定)。1枚の絵に「生命の証」を刻み込んで戦場に散った若者たち。その思いを90分のスクリーンに描いた作品です。(お問合せ:共同映画 03-5466-2311)

## ◎渡辺治さんがこの国を語る

九条の会東京連絡会の大学学習会

5月20日(金)午後6時開会

テーマ:大震災・原発事故後の日本のゆくえと私たちの課題 講師:渡辺治さん(一橋大学名誉教授)

うた:横井久美子さん(シンガーソングライター)

会場:けんせつプラザ東京5F(東京土建会館・大久保駅下車)、参加協力費 800円(あきる野9条の会事務局へお問合せください)

## ◎ジェームス三木さんが憲法を語る

九条の会・あきしま/講演の集い実行委員会

5月21日(土)13時30分開会

憲法と私:ジェームス三木さん(脚本家)

日米同盟とは何か:西山太吉さん(元毎日新聞記者)、ほかに管楽器演奏と沖縄のエイサー

会場:昭島市民会館、前売参加券 1000円(あきる野9条の会事務局で取り扱っています。当日会場では1500円になります) 詳細は同封のチラシをご覧ください。

## ◎大江健三郎さんら九条の会が講演

発足7周年記念 九条の会講演会

6月4日(土)13時30分開会 日比谷公会堂

講演:大江健三郎(作家)、奥平康弘(憲法研究者)、澤地久枝(作家)、鶴見俊輔(哲学者)の各氏

入場券 1000円(あきる野9条の会事務局へお問合せください。5/22まで)

## 事・務・局・ふ・い

☞**訃報**:呼びかけ人の永田専一さん(二宮)、戦争を語る会で長崎での被爆体験を発表した原一美さん(油平)がお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈りします。

● ニュースの発行が大幅に遅れ申し訳ありません。

● 定例サポーター会は毎月第2土曜日午前10時30分から12:00まで市役所1階ロビーで行っています。5月は14日です。会の催し物や学習会、賛同署名の推進などを話し合っています。みなさまのご出席をお待ちしています。

● あきる野9条の会賛同署名:累計 926名。

● 当会のホームページ・事務局だよりのブログもご覧ください。[あきる野9条の会](#) [検索](#)で見られます。

